



議会だより なおしま

2024
No.206
令和6年1月12日

発行●香川県直島町議会
編集●広報編集特別委員会
電話●(087)892-2297
印刷●山陽印刷(株)



「蛭と夜を泳ぐ竜」高橋綾仁君作（宮ノ浦）



年頭のご挨拶・今年の抱負……………	2・3P
夏まつりと火まつり合体(町長報告)……………	4P
デジタル教科書授業は(教育長報告)……………	5P
吹奏楽部演奏の場を 他(一般質問)……………	6P
中学生、新制服決まる(委員会リポート)……………	7P
中学生1日議会体験記……………	9~11P
地域おこしの2人が活躍(がんばりよるで)……………	12P

あけましておめでとうございます。

本年が皆さまにとって幸多きすばらしい年になりますよう
ご祈念申し上げます。

不易流行・積小為大



素早い対応をモットーにまい進します

中根 清孝



町執行部のチェックと提言を行ないたい

宮原 三郎



**移住定住・住宅対策・子育て支援等
ない知恵をしぼる**

浜口 敏夫



転出する人を食い止める施策が重要

小野 孝一



議長 井下 良雄

人口増加対策

に何をするか何をせんと
いなか考えてみます。

最近、年のせいか、時の流れの早さをすごく感じており、昨年1年もあつという間に過ぎた気がしています。

私自身昨年1年間何ができたか、どれだけ前に進んだか、振り返ってみると実績より反省のほうが多い気がします。

今年、議会議員として町の発展、活性化のため

議員のほぼ全員が一番に掲げています。地域に魅力・活力がなければ人は集まらない。裏を返せば、魅力・活力があれば人（移住者・交流人口）は集まる。直島は集まる要素はある。

全国の地方自治体がアイデアを出しがんばっている今、直島も負けてはいられない。知恵を出し合い真剣に行動しよう。「為せば成る」

観光客受入れ体制

2025年、瀬戸芸と大阪万博が同時開催され直島にもインバウンドを含め、今まで以上の来客が見込まれる。その受け入れ策の一番が陸上・海上交通の利便性向上といえると思う。昨年来島した客が船に乗りバスに乗った時、現金払いに「やっぱり田舎やなあ」と苦笑いしたと聞いた。

公共交通機関のキャッシュレス化は全ての利用者にとって早急に解決すべき問題です。

議会改革・活性化

まちの活性化にはやはり議会の活性化は重要。

・住民の声を町に提言
・10年先を見据えた将来像の提案
常に心掛けるべき「住民目線」と「未来構想」であり、その活発な活動は議員のなり手不足解消にも繋がるものです。

その他、まちのデジタル化を含め将来への課題は山積です。

「不易流行」伝統を守りつつ、時代の流れにに応じて新しいものを取り入れる。

「積小為大」

小さいことが積み重なって大きなことになる。大きなことの実現には小さなことをおろそかにしてはいけない。今年直島の『アレ』

のため、このふたつを念頭に議員全員全力疾走する所存です。
皆さま応援よろしくお願いいたします。

副議長 小野 孝一

最近の気候変動が激しい中、昨年は大きな災害もなく、平穏な1年だったのではと思います。

議員活動をする中で、

今、直島に最も重要なことは何だろうと、ふと考えた時、人口減少を少しでも食い止めるには、どうしたら良いのだろうかということに突き当たった。島外からの移住人口を増やしていくことは、もちろん必要だとは思いますが、それより町内から転出して行く人を食い止める施策を講じていくことの方がもっと重要ではと思ったのですが。いかがでしょう。

さあ
令和6年

明るいまちづくりに 全力疾走

浜口敏夫

12月1日現在、直島町の人口は2949人、じわりじわりと減少している。

人口の減少に歯止めをかけ、せめて3000人にまで回復させたい。

「直島町で住みたい・子育てしたい」と思ってもらえるような魅力を全国に発信したり新たに創造し、移住定住・住宅対策及び子育て支援を進めていくことが重要だ。

それぞれの知恵の出どころ、ない知恵をしばって議員としての使命を果たしたい。



人口増加策・福祉の充実を目指す

西岡 裕喜広

宮原三郎

「思は高く身は低く」「一隅を照らす」

を基本として、仕事では、議員の最も大切な

一つである町執行部のチェックと提言を行ないたい。

今年の仕事以外の目標

(夢)は、家の未読の書籍を読破したい。しかし、恐らく半分もいかないか。

夢という字を書けますか。意外と難しいですね。

夢に人べんを加えると儚

人の夢は、実現しない、はかない。字に負けず、

本年はガンバリましょう。

私は
アレを
がんばり
ます

ますます輝き日本一の町になるために

山上英一



中根清孝

議員になり6年目になりました。町民の皆さまからたくさんのご指導を

いただき、責任の重さを痛感しています。これからも少子化対策・人口増加対策など念頭に、フットワーク軽く、素早い対応をモットーにまい進してまいります。皆さまにおかれましても、健康に留意され、元氣いっぱいの子どもたちや、活発に活動されている高齢者の皆さまが健康で明るく、笑顔でいられるまちづくりを目指して頑張ります。

西岡 裕喜広

新春を迎え、穏やかで平和が訪れる1年になりますように。皆様にも幸多い年になりますように。

私は、人口増加対策・福祉の充実を目指し、町民目線で、微力ながら子どもから高齢者が住みやすいまちづくりを、小さなことから取り組み、明るい未来に向かって尽力いたします。

皆さまの思いを町に届ける役割を担い、よりよい暮らしになるよう精一杯、努力いたします。

直島がますます輝き、日本一の町になるために、常に努力を惜しまず、町の発展と子どもたちの未来のために微力ですが頑張ります。

動物愛護の面では、保護犬猫や引退犬の譲渡活動に注力したいと思います。

事故や防犯対策を
施し笑顔あふれる
町づくりを

山下 玲子



町政の大久保彦左衛門として活動

松島 俊雄

山上英一

今年は辰年の中でも「甲辰」(きのえたつ)の年にあたり、これまでの努力が実を結び、さらなる努力で成功に近づける年になるといわれています。

直島がますます輝き、日本一の町になるために、常に努力を惜しまず、町の発展と子どもたちの未来のために微力ですが頑張ります。

動物愛護の面では、保護犬猫や引退犬の譲渡活動に注力したいと思います。

世界中に猛威をふるった感染症も落ち着き、直島にもにぎわいが戻りつつあります。そうなりますと当然、交通量(特に自転車)も人も増えます。事故や防犯の対策をぬかりなく施し、子どもたちの通学路の安全に留意して、今よりもっと笑顔があふれるまちづくりをしていきます。

動物愛護の面では、保護犬猫や引退犬の譲渡活動に注力したいと思います。

松島 俊雄
昨年は候補者全員の当選により5月より新期体制となりました。半年余りを経た今年、辰年を迎え昇竜の直島町でありたいと願っております。個人的には昨年に引き続き町政の大久保彦左衛門として、辛口の切り口をもって議員活動に励んでいきたいと考えております。

山下 玲子

世界中に猛威をふるった感染症も落ち着き、直島にもにぎわいが戻りつつあります。そうなりますと当然、交通量(特に自転車)も人も増えます。事故や防犯の対策をぬかりなく施し、子どもたちの通学路の安全に留意して、今よりもっと笑顔があふれるまちづくりをしていきます。

動物愛護の面では、保護犬猫や引退犬の譲渡活動に注力したいと思います。

動物愛護の面では、保護犬猫や引退犬の譲渡活動に注力したいと思います。

夏まつりと 火まつりは…



町長報告

小林町長

一本化したい

(主なもの)

- 9月9日 町民ゴルフ大会が玉野ゴルフ倶楽部で開催され、表彰式に出席しました。
- 9月11日 三菱マテリアル株式会社直島製錬所を訪問し、吉野石膏株式会社の従業員雇用を要望しました。
- 9月20日 火まつり実行委員会が開催され、出席しました。
- 9月27日 町と香川県との意見交換会に新池政策部長他が来庁しました。
- 10月20日 福武財団笠原事務局長が表敬訪問のため来庁されました。
- 11月7日 21世紀・活力ある道づくりを目指す四国連合協議会要望活動が東京の都道府県会館で開催されました。
- 11月17日 中学校一日議会体験学習が役場議場で開催され、25件の一般質問がありました。
- 11月20日 へき地教育振興協議会として県教育委員会義務教育課に人事及び予算要望を行いました。
- 11月24日 四国電力株式会社による本村自治会へのホテル事業の説明会が開催されました。
- 11月30日 観光協会理事会が開催されました。

主な質疑

再雇用の現状は

Q (松島) 吉野石膏従業員の再就職はどうなっているのか。

A (町長) 三菱マテリアル・MER・関連会社に、再就職は確定していると聞いている。

火まつりの計画は

Q (西岡) 来年は、通常の火まつりと違って聞いているが、ど



夏まつりも?

A (町長) 夏まつりを実施するのが困難な状況となっており、んな計画をしているのか。夏まつりと火まつりを合体させて一本化しようと考えている。

住民からの意見は

Q (山上) 四国電力から本村自治会への説明で、住民からどんな意見がでたのか。

A (まち観課長) 主な意見として、騒音・夜間の照明・農協側の狭い道での配慮等の生活に関することだ。

どんな内容なのか

Q (宮原) 県教委への要望の内容は。

A (町長) へき地学校教員の待遇改善の措置等及び手当の改善等の要望だ。

していると聞いている。四国汽船には1日も早い復活を要望した。

要望の内容は

Q (小野) 21世紀・活力ある道づくりを目指す四国連合協議会に、どんな要望をしたのか。

A (町長) 防災・減災・国土強靱化のための5カ年計画加速化対策に伴う予算の十分な確保と、計画的に事業推進を、国会議員・国土交通省道路局・財務省等に要望した。

レッドバードの再開は

Q (中根) 宮浦港にレッドバードが停泊していたが、何か聞いているのか。

A (町長) 四国汽船が新しく桟橋を新設したため、停泊していた広島から帰っ



復活はまだか



津山教育長

ネイティブな
発音で

デジタル教科書での 公開授業は

主な質疑

中学校の部活は

Q (中根) 部活動地域移行準備会での話題や決まったことは。

A (教育長) この日の話題は2つで、1つは町の地域クラブ活動の完成イメージについて検討、もう1つは来年度の部活動の再編成について検討した。

研究授業では

Q (山下)「障がいについて考えよう」の研究授業でた意見は。

A (教育長) 聴覚・手・足に障がいがある人の立場になり、どうすればそれを解消できるかを考えるような学習指導がされた。子どもたちは、相手の立場になって考えることを学んだ。

視力の低下は

Q (西岡) 子どもの視力低下が話題になっているが、町の状態は。

A (教育長) 低年齢の段階からスマホを使わせている影響ではないかというのがマスクミ報道。令和4年度1・0未満の率は小中学校は全国平均より低い。5歳児は高いが、小学校で測ると低いので、測り方にもよると思う。

どんな機能なのか

Q (宮原) デジタル教科書の効果的な活用についての公開授業の内容は。

A (教育長) ネイティブな発音の読みあげ機能と、書かれているところが消えるマスク機能があり、両方を利用してひとりひとりのレベルに合わせて学べるところが利点だ。

端末機は1人1台だが

Q (小野) 文部科学省から初等中等教育施策の動向についての説明後、情報交換があったとのこと。その内容は。

A (教育長) 行政説明では、来年度から1人1台端末の更新が始まる。その予算をどうするかが全国的な課題となっており、国では「1人1台端末更新基金」を設け、今後5年間補助していくとのこと。分科会では地域クラブ活動について意見交換した。どこ



効果的な活用を

の地域も外部指導者を見つけることが困難である点が共通だった。

先生は足りるのか

Q (山上) 来年度、幼児学園園児が増えるに当たり、職員数など問題はなののか。

A (教育長) 園長・副園長と協議したが、現状の人員でやっていけるだろうとのことだ。

どこが変わったの

Q (宮原) 町立学校教職員旧姓使用取扱要綱の一部改正とあるが、内容は。

A (教育長) 婚姻をしたのちも婚姻前の姓を使用できるのが旧姓使用という制度だ。その使用範囲を広げようというところで辞令書・履歴書・宣誓書、この3つについて新たに旧姓使用を認めることに改正した。

一般質問



津山 教育長

西岡 議員

中学校の吹奏楽部は、年間を通して演奏を披露する場が少ないと聞いている。また、部員数が少ないことから、香川県の



小林 町長

松島 議員

高齢者町営バス優遇制度は好評。昨年の実績によると75歳以上の対象者は636人。利用者は156人。配布冊数415冊（8300枚）、利用

吹奏楽部に演奏の場を

〔教育長〕生徒自身の考えを尊重する

コンクールに出場ができないとも聞いている。

近年は、夏まつりやきらめき音楽会に出演後、3年生が引退している。少ない生徒数で頑張っており、何らかの形で、練習の成果を披露する場を作ってあげてはどうか。

他の地域では、小中学校生が多種多様なイベント

等で、演奏の場もある。当町においても、各イベント等があり、多くの町民が集まる福祉まつりの際に演奏してはどうか。今後の生徒たちの励みにもなり、何より学生時代の大きな思い出になるのではないかと。

A

（教育長）吹奏楽部は、現在は音楽



夏まつりで演奏

部という名称で活動している。平日の4日と土曜日の半日に、和気あいあいと楽しく活動している。

で公金運用の公平を確保するために制度の間口を広げる等の工夫と改善を求める声が出ている現状

高齢者福祉制度の改善を

〔町長〕公金は公平に執行されている

枚数8703枚（前年分の繰り越し含む）。この運用面で利用者に偏りがある。実態は宮ノ浦在住者の利用がほとんどなこと。フェリー、診療所、生協全て徒歩で済まされるのが日常である。数字で見ると宮ノ浦1区は対象者36人、利用者6人、配布冊数7冊。以下2区44人、5人、8冊。

3区54人、8人、9冊。4区89人、25人、38冊。5区19人、3人、3冊。6区14人、3人、5冊。7区45人、5人、16冊。計対象者301人、利用者55人、配布冊数86冊。この制度の原資は公金である。「公金は公平に運用」の原則から見るとこの偏りは矛盾していると言わざるを得ない。そこ



生活弱者の水道料金半額に

Q

小豆島町では高齢者、障がい者等、生活弱者の水道料金を半額にする等の措置を実施している。同町の「福祉

がある。

A

（町長）宮ノ浦の利用が少ないのは地理的なもの。利用は個人の判断だから公平は確保できている。よって改善の必要はないと考える。

学校内と学校外を合わせると、4月に部活動紹介、5月に幼小中合同運動会、6月に部活動激励会、8月に夏まつり、9月に昼休みコンサート、10月に宮ノ浦秋まつり演奏大会、12月にきらめき音楽会で発表をしている。一方、発表の機会が増えることは、練習時間が増え、精神的にも負担が増加すると予想される。音楽部の生徒たち自身の考えを尊重すべきと思う。

また、生徒たちで話し合い、音楽部としてどうしたいのか、決めさせたいと思う。その結果、今後、健康福祉まつりをはじめ、さまざまなイベントで演奏したいのであれば、主催団体に直接要望を伝え、教育委員会事務局がその要望の仲介をしたい。

今後、校長や音楽顧問から生徒に伝えてもらおうと考えている。

A

（町長）将来にわたって安定した水道事業を実現していくことが公共の福祉の増進となり、現時点では福祉等減額制度の導入は考えていない。

（松島）埼玉県同様SNSの炎上で世論が議会、町政を動かす形が起ってこれれば大変結構なことである。

委員会レポート

経済・民生

山上 委員長

中根 委員長

総務・文教

4年ぶりに敬老会 開催

中学生新制服 決まる

〔総務課〕

12月27日～30日

消防団年末警戒

令和6年1月13日

消防団出初式

〔まちづくり観光課〕

12月17日

コメプロジェクトによる

「おもちつき」が開催

生活応援クーポン券

全町民2939人と低所得者世帯242世帯に配布を完了

〔診療所〕

令和5年度診療状況

（令和5年4月～10月末）

入院患者数 261人

（前年度 256人）

外来患者数 7259人

（前年度 7081人）

時間外救急患者数

257人

（前年度 284人）

医師の働き方改革

Q

来年の4月から
医師の時間外勤務

時間が960時間に制限

ふるさと納税状況

10月末現在427件

2183万円

（井下）現在、宮

浦港では各宿泊施

設の送迎車が多い。これ

からマンダリンホテルも

増える。港での安全に配

慮した対応を町は考えているか。

（課長）四電には説明している。港

の送迎には全体での調整が必要だ。建設経済課や町

されるが、24時間体制の

ふれあい診療所では問題

がないのか。

休日・夜間の待

機時間について

は、労働基準局にも確認

しており特に問題はない。

〔住民福祉課〕

敬老会

10月5日

長寿祝い等対

象者に記念品

を贈呈した

後、女文楽、

幼児学園の演

長も含めて相談していく。

〔教育委員会〕

卒業式の日程

中学校3月13日、小学校

3月14日、幼児学園3月

15日

入学式の日程

中学校4月10日、小学校

4月11日、幼児学園4月

12日

中学校の新制服は

ブレザー型でネクタイ

とリボン は水色を基調とし、ブレザーは紺色でズ

技などを楽しんだ。

出席者 117人

〔健康推進室〕

健康福祉まつり

9月10日

健康チェック、歯科教室、

歩行測定、フリーマー

ケット実施

参加者 232人



えびす舞

（山上）

子どもた

ちの意見は反映

されているのか。

（教育長）

業者が数

種類のモデルを

展示し、子どもたちが試

着して意見を聞くと、圧

倒的にこの制服が良いと

支持を得て決定した。

今後の予定

令和6年1月6日

二十歳のつどいを直島ホールで開催

〔建設経済課〕

姫宮団地2期工事

宅地造成工事完

了後のスケジュー

ルは。

工期どおり11月

末に完成し、登記

手続きが完了後、1月中

には販売開始したい。

鳥獣捕獲数（10月末）

カワウ 34羽

タヌキ 22匹

カラス 17羽

イノシシ 40頭



香川大学直Pのブース

人事

委員のみなさん

よろしく願います

選挙管理委員会委員に4氏を選出

任期満了に伴う町選挙管理委員会委員に次の4氏を選出しました。

任期は令和5年12月25日から令和9年12月24日までの4年間



花岡 鶴美 氏



藤本 伸幸 氏



松浦 友子 氏



堀口 佳章 氏

条例

一部改正

子育て世帯の国民健康保険税が減額されます

国民健康保険税条例の一部改正

全世代対応型の持続可能な社会保障制度を構築するため、産前産後期間の国民健康保険税軽減措置制度が創設されたもの。

改正内容

- 子育て世帯の負担軽減等の観点から、出産被保険者に係る産前産後期間分の均等割額と所得割額を減額するための所要の改正
- ①単胎妊娠の場合
出産予定月の前月から出産予定月の翌々月までの4カ月分を減額する。
- ②多胎妊娠の場合
出産予定月の3カ月前から出産予定月の翌々月までの6カ月分を減額する。

制定

町議会議員の請負の状況の公表に関する条例

条例の概要

議員は、町と請負をすることが禁止されています。今回、地方自治法の改正があり、議員が、町と年間の請負金額が300万円以下であれば、請負を行なうことができるという規制の緩和がありました。この改正に伴い、議員が町と請負を行なえば、その明細を議長に報告する。そして議長は、それを公表するという条例制定です。

施行日

施行は、公布日から

令和5年度一般会計補正予算

直島町ホームページのサイトリニューアル事業、住民記録システムのふりがな対応をするためのシステム改修事業などに1073万円追加し、予算総額は34億526万円となりました。

- 戸籍住民基本台帳費 424万円追加
- 都市計画費 358万円追加

（山上）ホームページの主な改修内容は。

（まちづくり観光課長）ふれあい通信なおしまとの連携を構築し、お知らせページに掲載できるよう改修する。

歳入の主なもの

- 国庫支出金 424万円追加

繰越金

648万円追加

歳出の主なもの

- 総務管理費 242万円追加

臨時議会開催

11月24日に臨時議会を開催し、議員の給与に関する条例の一部改正、一般会計補正、国民健康保険事業・介護保険事業・診療所事業・簡易水道事業の各特別会計補正を審議し、いずれも全員賛成で可決しました。今回の補正は、主に職員の給与改正に伴うものでした。

11月17日、中学3年生による1日議会が開催され、25の質問で町政を問いました。

再質問もあり、有意義な議会体験になったと思います。

皆さんに感想文を書いていただきましたが、紙面の都合上9人の生徒の感想文を紹介します。



橋本 議長

自分の質問が町の未来に繋がる

先日は、お忙しい中議会体験をさせていただき、ありがとうございました。

私は直島小中学校の防犯対策について質問しました。直島小中学校は定期的に不審者侵入の避難訓練を行っていますが、他の地域と比べ学校の敷地内に侵入しやすい設計になっています。以前から直島中学校にも防犯カメラを設置したり校門を作ってみたりしてはどうだろうかと考えていたので、今回質問することができてよかったです。今回の体験を通して私は自分の住んでいる地域について自分で質問し、町の未来に繋がることはとても嬉しいことだと思いました。



はるな
掛谷 春菜 さん

話し合うことの大切さを理解

今回は私たちのために議会を開いてくださりありがとうございました。私は今回の議会体験を通して多くの人で話し合うことの大切さについて改めて理解することができました。私は今回の議会で道幅を広くすることについて質問しましたが、なぜ道幅を広くすることが出来ないか、そのことに関して今、町でしていることなどをとても分かりやすく説明していただき、理解することができました。国会でもたくさんの国会議員が、衆議院・参議院に分かれ国の未来について慎重に議論していますが、その形式を議会で体験することができとても貴重な体験になりました。今回の体験をこれからの人生に生かしていきたいと思いました。

今回はお時間をさいてくださり本当にありがとうございました。



たいち
岡崎 太一 さん

故郷を綺麗に自然豊かにしたい

先日は、お忙しい中議会体験をさせていただきありがとうございます。

議会体験に参加していつもこの直島のために議員さんや役場の方々がいろんな意見を出し、新たな街づくりをしようと切磋琢磨されていることを知りました。私は、小型旅客船の便数の回復についての質問をしたのですが、会計管理者の方が明確に回答してくださったのでより理解を深めることができました。また、私は議長を務めさせていただいたのですが、発言をするタイミングが難しく、気の抜けない仕事だと思いました。私がもし議員になったらその時は、今の議員の方たちのように自分の故郷をより綺麗に自然豊かにする取り組みをほかの議員の方々と考えていきたいと思います。今回は、貴重な体験をさせていただきありがとうございました。



ないと
木村 夏愛 さん

体験記



木村 議長

町民が議会に興味を持ってほしい

この度は貴重な体験をさせていただきありがとうございました。

私は通学路の草刈りについて質問させていただきました。質問させてもらうときは、とても緊張しましたが大きい声ではきはきと自分の意見を述べることができました。2年生の時に議会見学をさせていただき、議会がどのように進められているかを知ることができた上での議会体験だったので、議員になった気持ちで質問をすることができました。この美しい直島を守ることができているのは、この議会があるからだと思っています。だから、私は直島に住んでいる皆さんにもっと議会や行政などに興味を持ってほしいです。私が大人になったら直島の行政に関してしっかり考えてこの美しい直島をもっとより良い島にしたいです。この度はこのような機会をくださりありがとうございました。



兼元 ^{そら} 天空 さん

議会を“見る”から“する”に

先日は、お忙しい中議会体験をさせていただきありがとうございました。貴重な体験を得ることができました。発表するとき緊張しましたが堂々と言うことができたと思います。私はフェリーの自動販売機について質問しました。そこで施設基準についてお聞きしました。衛生管理がしっかりとゆき届いていたり、船の時間が20分～1時間であり港の近くにある買い物スペースで済ませたりなど自動販売機を設置するためのリスクについて知りました。去年は議会体験で議会を“見る”立場でしたが、今年は議会を“する”立場になりました。議会体験を通して、視点が違うからこそまた別の見方ができたと思います。また、皆が直島をよりよくするためのいろいろな意見を述べていてとてもすごいなと思いました。



芝原 ^{さほ} 爽歩 さん

課題解決にはお金と人が動く

先日は議会体験をさせてくださりありがとうございました。今回の議会体験で、町の代表として発言することの素晴らしさや、責任を感じることができました。私は、中学生が楽しめる憩いの場について質問させていただきましたが、回答を聴いて、私自身も直島について知らないことがまだまだあるなと思いました。一見、すぐ解決できそうな課題でもそれを解決するのに、たくさんのお金と人が動かないといけないと知ることができました。今回私の意見は通りませんでした。今後直島の課題について考えて私にできることを見つけていきたいと思いました。この度は、貴重な体験をさせてくださり本当にありがとうございました。議会の皆様におきましては、これからも直島のためにご尽力ください。



鳥居 ^{ゆうた} 優太 さん

1 日 議 会



土井 議長

議会の役割を肌身で感じた

先日は、1日議会をさせていただきありがとうございました。

1日議会で、議長の立場と議員の立場をさせていただきました。議長の立場では、高い位置に座って発言することはとても緊張しました。また、いすがとてもふかふかで気持ち良かったです。

議員の立場では、自分の意見をたくさんの人の前で言うことの大切さと大変さを感じました。今回私は四国汽船の朝早い便について質問しました。町長さんにお答えいただきました。丁寧に分かりやすく説明してくださり町の考えを聞くことができ納得することが出来ました。

1日議会を通して、質問する人、答える人、議会を進行する人、その一人ひとりの役割や、直島町がよくなるための話し合いを肌身で感じる事ができて良かったです。



橋本^{みえ} 心瑛 さん

政治や選挙に興味を持った

先日は、お忙しい中議会体験をさせていただきありがとうございました。

議会体験を通して、町民の代表として発言する責任や発言して町をよりよくしていくとする大切さを学びました。今回私が質問させていただいたことは通りませんでした、はきはき大きな声で発言できていたと思います。

そして改めて議会の重要さや大切さを見直すことができました。普段座ることのない椅子や、写真撮影では議長さんが座る席を間近で見れてよかったです。今回の議会体験を通して政治や選挙に興味を持ちました。これから、町がもっとよりよくなっていくように町民全体で協力していけたらいいなと思いました。この度は1日議会体験をさせていただき本当にありがとうございました。



宮原^{しゅう} 柊 さん

暮らしやすく素敵な町にしたい

先日はお忙しい中、議会体験をさせていただきありがとうございました。

私は今回、宮浦港周辺を走る自動車への注意喚起について質問させていただきました。小学生の頃から気になっていたことを議会ですべて質問させて頂き、貴重な経験になりました。町づくり観光課長さんが質問に対して丁寧に答えてくださって納得することができました。歩行者のみならず運転手の安全にかかわる問題なので、私もいつもより注意しながら横断しようと思いました。

議会体験を通して学んだことは、議会の方たちがより良い直島町にするために色々と考えてくださっているということです。私は町民の皆さんが暮らしやすく、観光客の方々に直島は素敵な島だと思っていただけるように、これからも私たちにできることは積極的に行ない、より良い直島町にしていきたいと思いました。



真木^{りのん} 梨希 さん

がんばりよるで

島の顔として

盛り上げます



恵島千尋さん

教育面で 選択の幅を 広げたい

野口奈穂さん

今回は、地域おこし協力隊でがんばりよる恵島千尋さんと野口奈穂さんのお2人です。

Q 直島へ来られたのはいつ頃で、以前はどこに住んでましたか。

恵島 2年前に約1年間町内の飲食店で勤務していました。今年の4月に再度移住して来ました。

野口 直前は大阪にいました。直島へは4月に来ました。以前は東京の国立に住んでいました。

Q それまではどちらで何の仕事をしていましたか。

恵島 ネジの会社で経営と営業アシスタントをしていました。

野口 大学院でファイナンスの研究の仕事をしていた、期待値の計算などしていました。

Q 直島に決めた理由は。

恵島 直島の人の温かさ、惹かれ、私もこんな人になりたいと思ったからです。



旅行者をおもてなし

でふれあい通信を担当し、まち観課でも仕事をしています。

野口 人と雰囲気です。

長めに滞在した際に、ここに暮らしてみたいと思いました。

Q 移住されて少し経ちますが、不便なこと困ったことなどありますか。

恵島 今住んでいる所が山の近くで湿気が多く大変です。梅雨の時にコートにカビが生えた時はショックでした。

野口 不便なことは全くないです。困ったことは、強いて言うなら実家に帰る時の交通費が高いです。

Q 地域おこし協力隊で担当されている仕事は。

恵島 観光協会の窓口業務、イベントの参加取材、まち観課主催のイベント企画、協力隊のSNS発信など担当しています。

野口 広報担当で総務課

Q 仕事に関して、楽しかったことは。

恵島 今ではイベントも取材できるようになり、参加できることが楽しいです。知り合いも増え毎日充実しています。

野口 ふれあい通信を読んでいると、町民の方々から反応などいただこうらしいです。これからも聞きやすいように頑張っています。

Q 将来の直島を描いているビジョンはありますか。

恵島 見て学んで、心とカタチに残る思い出を体験できる島にしたいです。

野口 教育面で直島の子どもたちが将来への選択の幅を広げる手助けができればと考えています。

Q 最後に、町民の皆さんにメッセージをどうぞ。

恵島 直島についてまだまだ勉強中ですが、「直島の顔」として盛り上げていきます。

野口 精一杯がんばりますのでよろしく願います。



ふれあい通信を読んでいます

恵島さん、野口さん本当にありがとうございます。若い2人のパワーでいきいきとした元気な島にしてください。

編集後記

今年は、直島町が昭和29年4月に村から町になって70周年を迎え、人間の一生に例えれば「古希」の節目の年にあたります。

この間、さまざまな出来事乗り越え、明治23年の村制から現在まで先人の方々の努力により県下で唯一市町村合併をせず単独の自治体として発展してきました。

人口減少社会において2040年までには多くの自治体が消滅するといわれているなか、百年先にも存続するよう、町のさらなる発展を念頭に議員一同頑張っています。

(山上 記)

広報編集特別委員会

委員長 井下 良雄

副委員長 小野 孝一

委員 山下 玲子

山上 英一

西岡裕喜広

中根 清孝

宮原 三郎

浜口 敏夫